心静興長

題字　心静興長　　揮毫　今治・越智教育会ＯＢ　越智　定志　　解説は３面

愛媛文教月報

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町１丁目５－33
エスポワール愛媛文教会館内
電話（089)945－8644
ＦＡＸ（089)945－1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

(2)学校紹介　惣開小学校
(3)ふるさとに生きる
(4)(5)あの日あの時ー
私の大正・昭和・平成
(6)日連教滋賀大会提案要旨
(7)「えひめ教育の日」の取組
(8)ふるさとスケッチ

前向きに　生きる

元松山市立東雲小学校長
井上弘子

「井上さん、見える所だけ見ていたらいかんのよ。」「よう来たなあ、試練を楽しんでやってや。」大好きな先輩からいただいた言葉です。優しさ、温かさが今も心に生き続けています。私は、何を後輩に残しただろうと反省しています。

小学６年生の時、「子どもに好かれる先生になりたい。」と夢を持ちました。しかし、我家は貧しい上に妹が３人、女の子が大学まで行かんでええ、という考えでした。屋根裏べやに上がり、星や月を友に必死で勉強しました。やがて家族の協力が得られ、大学に入学できました。勉学とテニスとアルバイトに励み、やっと私に青春が来たのです。卒業後、愛媛の教師になれたのです。家族みんなで喜んだのを思い出します。

校長までさせていただけるとは、誰も予想できなかったでしょう。すばらしい人に出会わせていただいたお陰と心から感謝しています。

校長時代の忘れられない出来事の一つです。海の近くの学校に赴任した時、台風が松山を直撃、強い風雨の上高潮が重なったのです。海辺の家々に海水が押し寄せたのです。市より避難指示が出されて、人々が体育館に集まって来たのです。連絡を受け私もすぐ学校に戻りました。驚いたことに教頭先生を中心に若い教職員みんなが笑顔で働いていたのです。「校長先生、任しとってください。」と言いながら湯茶、スリッパ、テレビ、マット、毛布、弁当等の準備や搬入等よくやってくれました。足拭きやトイレ掃除も手抜かりありません。すごい先生方だなあ、と感心しました。校庭の電柱に海水が吹き付けられると激しく火花が出ることも知りました。怖い体験でした。早く治まってほしいと思っていました。数時間待機の後、解除となり人々は明るい顔で帰って行きました。あの夜の体験は、一生の宝です。

今の私は自遊人となり地域で生活しています。今後どんな自然災害が起きようとも冷静に判断し勇気を持って行動したいです。助け助けられ、みんなと生きていきましょう。希望を持って。

―略　歴―
（いのうえ・ひろこ）
・昭和45年　松山市立高浜小学校新採
・平成６年　愛媛県教育委員会義務教育課指導主事
・平成12年　松山市立五明小学校長
・平成15年　松山市立高浜小学校長
・平成17年　松山市立東雲小学校長
・平成20年　松山市立東雲小学校定年退職
・平成20年　愛媛県教育委員会教育委員

聞響（ぶんきょう）

夏の朝、暑さがまとわりつかない間に家の近くを歩いてみる。どこからかラジオ体操の音楽が流れ、眠そうな目をこすりながら会場にかけていく子どもたちに出会う▼昔は、朝の早くから全戸に聞こえるように防災無線の放送を通してラジオ体操への呼びかけが行われていた。学校でも当然のこととして「毎日参加するよう。２学期始めには参加カードを必ず提出するよう」指導をしていた。いつのころからか、ラジオ体操の放送や子どもたちの歓声が騒音と捉えられたり、様々な家庭事情で子どもの早起きを強制することが難しくなったりする状況が一般化してきた。その結果、ごく短い期間、限られた場所で、希望する者だけが行う行事になってきた▼しかし、夏の早朝のすがすがしさ、友達や地域の人々とかわす挨拶のさわやかさは子どもの育ちにとってかけがえのない体験ではなかろうかと思う▼散歩の足を止めて子どもたちと一緒に体操に参加してみる。いつもよりちょっと大きな声で「おはよう」と声をかけてみた。「おはようございます」と元気な返事が返ってきた。

ひとこと

修業と悟り

内子教育会
前会長
山本　功

今年、72歳となる。私の修業について報告します。

10月下旬ころ榑の木をチェンソーで切り倒し、1カ月ほどそのままにしてから長さ1メートルに切ります。傾斜地の山が多く、道まで転がせたり投げたりして集めます。

73回、これは軽トラックで運搬した回数です。分量は高さ1メートル、長さ50メートルと30メートルの二列に納めました。圧巻です。

1本1本にドリルで穴を開け、そこに椎茸菌を植菌します。金槌で叩いて入れます。

椎茸菌は35、000個なので金槌で35、000回叩きました。

植菌日数は18日間でした。

ひたすら無の境地になり、金槌を叩き続けました。今、遮光ネットをかけて日差しから防いでいます。

植菌した木は、半年ほどそのままねかせてから、ホダ場へ運びます。軽トラックに積み、ホダ場で降しトップカーで運びます。

杭を約1メートル間隔にして、自作の掛矢で叩き立てます。場所によって長さはまちまちです。上に針金を張り特殊釘でとめ、そこに交互に植菌した木を立て掛けます。

このような作業工程を毎年しています。木は重くかなりの体力を使い続けます。重労働漬けの日々を送っていますが、己の修業だと執念を持ち退職後、ずっとやってきました。

修業によって悟るものはあっただろうか。

「今だ悟りを得ず」

山を師と仰ぎ、今日も修業のため山に籠っています。

各々方々、どのような修業をされておられますか。

学校紹介 NO.201

新居浜市立惣開小学校

ESDを通した人材育成

本校では、「持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材を育てる」という理念を根幹に、全教職員が心を合わせチームとしてESDの活動に積極的に取り組んでいます。以下、そのプロジェクトを紹介します。

【渡り蝶「アサギマダラ」を呼べ！】

日本本土から2、000キロもの長距離を移動する「アサギマダラ」を呼ぶため、絶滅危惧種の「フジバカマ」を育てています。今年度はいつもの年より早く、チョウだけにフライングぎみに4月26日に飛来してきました。

【王子が丘の自然を守れ】

学校の隣に王子が丘（里山）があり、縦割り班活動での活動の一つの場所になっています。たくさんの落ち葉があり、自然のままの樹木や植物が残されているので、自然豊かな環境づくりへの意識を高めることに役立っています。

【命のワクチンを届けよう】

ペットボトルキャップ回収を通して、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に取り組んでいます。地元の幼稚園等からも、この活動に協力していただいており、幅広い支援をいただいて、活動に取り組んでいます。

【服を届けよう】

一般の企業と協力して、海外の難民キャンプで暮らす子どもたちに服を届ける活動に取り組んでいます。恵まれない子どもたちへの生活環境の改善に関わる地球規模での社会貢献活動に積極的に取り組み、豊かな心を育んでいます。

【美しい町をつくろう】

ボランティア活動として、地域の清掃活動を設定し「ラブ&スマイルの日」と名付けて住みやすく美しい町づくりに取り組んでいます。この活動は、子どもたちが自主的に立ち上げた活動です。現在は、1カ月に1回程度、地域の方とともに実践しています。

これらはすべて、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の17の項目に関連しています。この達成を目指して、今後もESDの活動に取り組んでいきます。

そして、これからも、様々な価値観をもった人々とも協働し、問題を解決していける人材、持続可能な社会を実現していく人材を育てていきたいと考えています。

（校長　井上　美樹）

題字に寄せて

心静興長（こころしずかにきょうながし）

今治・越智教育会
ＯＢ
越智　定志

心が静かであれば、日もまた長く、興趣も深いものがある。という意味である

八十路を過ぎると、時間的なゆとりはたっぷりとある。

いつか旅して、山門をくぐった時、ふと目に止った、味わい深い言葉に出会った。

老いてこそ人生
　ゆっくりと生きる
　ていねいに生きる
　やわらかく生きる
　仏様にまかせて

というのである。

忙しい毎日だからこそ、心を静かにして、ゆっくりと、ていねいに、やわらかく過ごす一時を持って、ゆとりのある生活を送ってみてはどうでしょう。

ふるさとに生きる　No.102

梨農家を継いで

内子教育会
ＯＢ
稲田由美子　先生

内子町は果樹栽培が盛んで梨・桃・柿・葡萄・キウイ等様々な物が採れるフルーツタウンとして名をはせています。

私は、教職33年の後、早期退職をして、夫の両親がやっていた梨の栽培を継ぎました。約１ヘクタールの梨園で、25種類３００本の梨をほぼ一人で栽培しています。

継いだ時は、義父は他界し高齢の義母の教えを請い、四苦八苦しながら取り組みました。本を読んだり梨の産地で開かれる全国大会に参加したりして無我夢中でやりました。

退職した時は、晴耕雨読で農業を楽しむぞと引き受けましたが、年中ずっと仕事はあるし、晴雨関係なく作業があるし、足腰はいたいし、夢に描いていた理想とはほど遠いものでした。

しかしながら、せっかくやり始めたので、途中で投げだす訳にもいかないのでどうせやるなら楽しもうと、梨の新品種を導入したり、農業機械を積極的に取り入れたりと前向きに取り組むことにしました。なによりも、梨を買って頂くお客さんの「美味しかったよ。」と言う声は、とても励みになりました。

少しずつ栽培の楽しみが出始めた頃、町の直売所の役を頼まれました。出荷者としては素人の私でしたが、教員時代に身に付けた力がとてもありがたかったのは、人の前で話をする時です。また、イベントを企画したり組織を動かしたりする時はこれまで培ったノウハウを利用できます。人生、どこで何が役に立つかわからないものだとつくづくと思います。どんなことにも真剣に取り組んでおくことの大切さも感じました。教員時代に育てて下さった皆様に感謝します。

今は、出荷者４００人をまとめる会長として、どたばたしながらも楽しんでやっています。

この地域も少子高齢化の波がひたひたと押し寄せ、活性化の必要性に迫られているのを感じます。農業の担い手も例外ではありません。これらの課題を少しでもなんとかできないものかと思っています。

今私にできるのは、生き生きと農業に取り組んでいること、直売所の仲間と地域の良さを発信していくことだと思っています。少しでも地域の活性化にお役に立てればと思いながら。

稲田　由美子　先生（64歳）
（喜多郡内子町五百木在住）

オフィスのことは何でもご相談ください！

AGUSAS
AGENT FOR USERS WITH SUPPORT AND SOLUTIONS
株式会社アグサス

本社：〒791-8021 愛媛県松山市六軒家町２番３０号
TEL：089-923-6666 / FAX：089-923-6900
営業拠点：松山・新居浜・今治・四国中央・大洲・宇和島
URL：https://www.agusas.co.jp

教職員の皆様のための「教弘保険」
34歳までは「ユース教弘保険」
35歳からは「新教弘保険」

ジブラルタ生命保険㈱は公益財団法人日本教育公務員弘済会の共済事業（提携保険事業）の提携会社として、60年以上にもわたる提携を通じて教職員の皆様の福祉向上のお手伝いをさせていただいております

ジブラルタ生命保険㈱　松山支社
TEL089 - 913 - 8780/Fax089 - 913 - 8789

特集　あの日あの時ー私の大正・昭和・平成

父との話

四国中央教育会　ＯＢ
内田　　栄・内田　典彦

執筆依頼を機に父を訪ねて、昔の思い出話をすることができました。

大正13年生まれの父は、尋常高等小学校の頃から本が好きで、読書によって知識を広げていたようです。青年師範学校に行ったのもその知識を生かしたいと思い、国語の教師の道に進んだのだと思われます。その時に学徒出陣もあり、大変な時代があったと話してくれました。上山中学校を皮切りに、終始生徒を理解しようと努めたそうです。この時代は激変期で、勤務上でも苦労があったようです。昭和の思い出が強いと感じました。

私は昭和32年生まれで、学生時代は「三丁目の夕日」そのものでした。小学校の頃は、川や山で友達と1日過ごしていました。大人の指導者がいないソフトボールチームを作り、他校のチームに試合を申し込みに行ったこともありました。中学校や高校はサッカーと音楽で明け暮れ、勉強はそこそこでしたが、いい思い出ばかりです。教職は平成が中心で、制度の変遷もありましたが、一人一人に寄り添うことに努めてきました。

父とはどうしても教職の話が多くなり、盛り上がります。共通しているのは、子どもが好きで大切にしてきたことです。繋がりを感じたひと時でした。

父母ともに95歳になります。健在です。私の自慢です。父母とともに、昔の話を改めてできたことが、何よりうれしく、いい親孝行ができたような気になりました。

平成の思い出を胸に

中北中学校
西条市西条教諭
毛利　花奈

平成31年4月、私は新規採用教職員として本校に赴任しました。4月1日の初任者研修中に、新しい元号が発表されたことを、昨日のことのように覚えています。元号が変わる節目の年を、新社会人として迎えられることを非常に嬉しく感じました。

私が学生だった頃は、ちょうどゆとり教育が終わる間の学年でした。移行措置対応の補助教材をよく使って勉強をしていました。一つ上の学年とも下の学年とも学習内容が違っていて、よく、「浪人すると大変なことになるから頑張れ」と先生に言われていたことを覚えています。当時は、なぜ私たちだけこんなに勉強をしなければならないのか、と思っていましたが、教員になった今考えてみると、先生方も教える内容が変わって大変だったのではないかと思うようになりました。

そんなゆとり教育の影響を受けた平成の学生時代でしたが、私が教員として生きていくのは、令和の時代です。もちろん、自分が学生だった頃と比べていろいろなことが変化していますし、新しい時代に合わせた教育というものが必要になってきます。しかし、いつの時代も変化しないものもあると思います。そういった教育の基盤にあるものを、先輩の先生方から学び、令和の時代とともに成長していきたいと考えています。そして、新時代を立派に生きていくことのできる子どもたちを育てていけるよう努力していきたいです。

今は昔、特殊教育について

松山市教育会
ＯＢ
河合　　淳

昭和40年4月、知的障がいの生徒を対象とする特殊学級（今の特別支援学級）の担任として、松山市立城東中学校に赴任した頃のことです。知的障がいの生徒を対象とした特殊学級で、46人の生徒を5人の教員で担当していました。生徒たちはダウン症、自閉症、脳性麻痺で肢体不自由のある子ども等様々な障がいがありました。当時は、卒業しても進学する学校は無く、今のような福祉施設もほとんど無いような状況で、もちろん障がい者手帳も支給されていませんでした。比較的障がいの軽い生徒には、何とか手に職をつけて就職させようとのねらいで、職業学級と名付けて学級が設置されていました。一般企業にお願いをし、数週間の現場実習を何回か試み、何とか仕事のできる生徒については就職に結び付けていました。障がいの重い生徒たちは現場実習も困難であり、卒業後は極めて少ない福祉施設の空きを待つか、家庭で保護するしかありません。もっと障がいの重い子どもたちには、就学猶予とか就学免除の措置が取られ、教育の場もありませんでした。

このような社会情勢の中で、児童・生徒をどのようにして社会に送り出すかは大きな課題であり、その取組が私たちの仕事でありました。市内の特殊学級の担任者が毎月集まり、情報交換、授業研究を通して、いろいろな問題点について話し合いを重ねていました。保護者も真剣に他県の情報等を集めて話し合い、相談を重ね、関係当局に働き掛けをしました。

このような保護者の思い、

「伊予」の由来を探る

伊予教育会
ＯＢ
坪内　寛

私たち特殊教育担当者の思いの積み重ねが、現在の特別支援教育につながっています。

私の母校は伊予市立伊予小学校です。校名の由来が知りたくて調べた。伊予の初出は、『古事記』である。「イザナギ・イザナミの神は、伊予の二名の島（四国）を生みました。身体は一つで顔が四つあります。顔ごとに名前があり、伊予はエヒメといいます」

伊予の由来について、景浦稚桃は大正６年、『伊予史精義』で、「イヨはイユ（出湯）がイヨに転じた」として、道後温泉由来説を提唱された。郷土史の権威が提唱された説だけに、疑義をはさむこともなく、次第に定説化していった。

ところが昭和54年、吉田茂樹が『地名の由来』で、「上代から温泉郡と伊豫郡を分けておりイユとイヨは別の地名である」と指摘し、道後温泉由来説を否定。

昭和59年、『愛媛県史・文学』では、「伊予郡（いまの伊予市・伊予郡）などとある通り、もとは小地名であった。そこがおそらく政治・文化上肝要の地であったために、一国の名となり、さらに四国の総名になった」として、伊予の発祥地は、道後温泉ではなく伊予郡市であると比定。

では、伊予は伊予郡市の何に由来するのであろうか。平成17年、吉田茂樹は『日本の地名』で、「イヨ（森）と考えている。「森」とは、樹木が高くそびえていることである。南東の山地に高い木立があったか、人里に近い所に木立の高い森があったかである。近くには、その裏づけになりそうな「森川」がある」として、森林説を提唱された。森川の周辺一帯には、かつては扶桑木の巨木が茂っていたと中国の古い文献にも載っている。現時点ではこれに替わる由来説は提唱されていない。令和の世には、伊予の由来の真実が明らかになることを願っている。

祝　受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

五百木教男様	88歳	元宇和島市立明倫小学校長	宇和島市
小笠原桂喜様	88歳	元宇和町立皆田小学校長	西予市
西川　又夫様	88歳	元宇和町立多田小学校長	西予市
上野　亮様	88歳	元松山市立味酒小学校長	松山市
岸田　忠雄様	88歳	元東予市立多賀小学校長	西条市

今なら言える

北宇和教育会
ＯＢ
菊澤　純次

今回の執筆依頼で思い出したのは、平成の初期、私が教頭職にあった頃の出来事で「今なら…」と猛省したのは、平成最後の年、古希も過ぎた私の誕生日に届いた、一通の手紙の内容からでした。

そこには、「当時、ほぼ新採教員のようで、先輩教諭は勿論、同い年の教員にも追いつかず焦るばかりの私に、服装、言葉遣い、校長室の入り方、書類の書き方等教員の常識を細かいところまで教えてくださいました。今思えば当たり前のことなのに、当時は真剣に悩み、私のことが嫌いなのかなとも思いました。」と書かれていました。

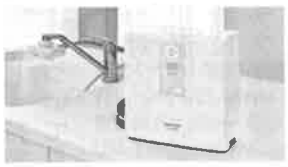
さらに、「悩みを同い年の先生に話すと、『教頭先生はできると見込んでいるから指導してくださっていると思うよ。』と言ってもらい、気持ちが楽になり、自分のやることが見えてきました。」とも書かれていました。

私は、これを読んで「何と言葉足らずのひどい指導をしていたものか。」と愕然としました。私より、同い年の若い先生の言葉のほうが状況にあった適切な助言になっていると感じました。相手の性格や得手不得手を理解し、指導に生かすこともできていなかったし、画一的な指導では有効な指導にはならないことが、今なら分かります。

「出会えてよかったです。」と文末に記してありましたが、それは、まさに私が言いたい言葉です。ベテラン教員となり、活躍中の君へ、「出会えてよかったです。でも、ごめんなさい。そして、ありがとう。」

TRIM トリムイオン整水器のご案内
NIHON TRIM CO.,LTD.
水を変える暮らしを変える

私たちの身体の約60％は水が占めています。
飲む水も、料理で使う水も、私たちの生活のさまざまな場面でふれあうすべての水を生命に適した、よりよい水でお届けしたい。
それが日本トリムの考える「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」です。



お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または　郡市学校生活協同組合

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から15％割引、一括払でさらに5％割引になります。
保険料のお支払は給与引法となります。
教員ＯＢの方も口座振替（一括払）で適用されます。

一引受保険会社一
東京海上日動火災保険（株）
三井住友海上火災保険（株）
損害保険ジャパン日本興亜（株）

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
・電話（089）925-0555
愛媛県教育用品株式会社
保険事業部担当　井戸・新まで

日連教滋賀大会分科会提案要旨

〈環境教育〉身近な問題に気づき、考え、行動できる生徒の育成

東温市立川内中学校
教諭　池田光辰

1　研究協議題との関わり

現在、東温市では、２０１７年より10年間の計画で第２次東温市環境基本計画が出されている。これは、「東温市環のまちづくり～ロハスタウンを目指して～」と題され、持続可能なまちづくり、連携の環づくり、資源循環を目指したものである。計画の三本柱として【人間の健康】、【自然の健康】、【社会の健康】があげられている。これを受け、本校の環境教育の目標は「環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境問題解決のための能力及び環境保全に自ら取り組む態度を育成する」とした。また、環境教育を行う中で、身近な問題に気付き、その問題を通して考え、進んで行動できる生徒を育成したいと考え、このテーマを設定した。

2　研究のねらい

各学年において身に付けさせたい能力や態度、環境を捉える視点を明確にし、環境教育に取り組んだ。

学年	身に付けさせたい能力や態度	環境を捉える視点
第１学年	○環境に興味・関心を持ち、自ら関わろうとする態度(関心) ○情報を発信しようとする態度(発信)	資源の循環
第２学年	○問題を捉え、その解決の構想を立てる能力(解釈) ○批判的に考え、改善する能力(批判)	異文化の理解
第３学年	○データや事実、調査結果を整理し、解決する能力(解釈) ○自ら進んで環境の保護・保全に参画しようとする態度(参画)	生活様式の見直し

3　研究の実際

○第１学年、総合的な学習の時間の取組

東温市市民福祉部環境保全課の方を招き、環境問題の現状や解決のための取組について、話をしていただいた。11月には松山市の産業廃棄物処理施設を見学した。体験的な活動を通じて環境問題に興味を持つ生徒が多く見られるようになった。

学んだことを話し合い、環境保全のために自分たちができることについて考えた。その結果をリーフレットにまとめ、本校生徒の各家庭や地域の方々へ配布した。リーフレットや発表会など発信する活動を通して、学習したことを自分の生活に生かし、自己の生き方について考えることができた。

リーフレット

地域の方へ配布する様子

○第２学年、英語科及び総合的な学習の時間の取組

各教科と連携しながら環境教育を行った。第１学年時に学んだ地域における環境教育から世界とのつながりを考える環境教育を行うこととした。

ＪＩＣＡや愛媛県海外派遣帰国教師の会と連携を図り、ゲストティーチャーを招き、それぞれの国の生活様式や環境問題、環境保護活動について講話をいただいた。日本と他国の取組や考え方を知り、それぞれの良さとともに、課題について考え、自らの生活を見直すことができた。

○第３学年、総合的な学習の時間の取組

高知県にある四国電力本川発電所の見学を行った。水力発電所について学習し、持続可能なエネルギーについて見識を深めた。

また、災害時の対応の仕方を学ぶために、東温市の過去の災害や自然環境について調べたり、南海トラフ大地震における被害予想をしたりしたことを、プレゼンにまとめ発表を行った。現在の自分たちの生活に環境という基盤があることを認識し、自然災害を減らすために、自らが環境保護活動に関わっていかなければならないと感じることができた。

4　研究の成果と課題

２年間を通して学校全体で様々な教科や活動で環境教育を推進してきたが、課題として評価方法の難しさがあげられる。指導者により評価が変化しないよう、統一したものが必要である。

今後は各教科や学年の指導内容の関連性を見直したり、新たな関連性を発見したりするなど、指導計画の改善を図り、持続可能な社会を構築するための環境教育に継続して取り組んでいきたい。

エネルギッシュな新居浜から届けよう！まじめえひめの底力
11月1日「えひめ教育の日」

推進テーマ
未来へ羽ばたけ！　愛顔ひろがるえひめっ子

「ソーリャ、ソーリャ」、「ソーリャ、エイヤーエイヤー、ヨイヤサーノサーサー」。

耳を澄ませば、今年度も、勇ましい掛け声とともに、12年目を迎えた「えひめ教育の日」「えひめ教育月間」の近づいている足音がそっと聞こえてきます。

今年は、秋祭りでは勇壮な太鼓台が出てかきくらべをする新居浜市が舞台です。そして、新居浜市市民文化センターにおいて、「未来へ羽ばたけ！　愛顔ひろがるえひめっ子」のテーマのもと、次のような内容で開催されます。

「えひめ教育の日」・推進大会・フェスティバル

一　日時　10月27日(日)　12時30分から
二　場所　新居浜市　市民文化センター（新居浜市繁本町８の65）
三　内容

開会式
・主催者あいさつ
・来賓祝辞
・推進宣言
・表彰　関連写真
・「愛のあるバナナ」贈呈
・学校における働き方改革　推進共同宣言

新居浜市のゆるキャラ
新居浜まちゅり

推進フェスティバル
・金管楽器演奏　中萩小学校
・和太鼓演奏　船木中学校ひびき分校
・別子銅山の魅力紹介　新居浜南高ユネスコ部
・小女郎だぬき踊り　小女郎だぬき踊り保存会

ステージ発表
西条農業高校
土居高校
新居浜市内県立高校

物品販売展示発表

記念講演
講師　明石　要一　氏（千葉敬愛短期大学学長）
演題　「家庭・学校・地域のトライアングルで子どもを元気にしよう！」
共催団体　えひめ若年人材育成推進機構

「えひめ教育の日」関連写真募集

推進テーマ「未来へ羽ばたけ！　愛顔ひろがるえひめっ子」に沿った、ＰＴＡ・公民館・地域などとともに、実施した行事などの写真を募集！
・親子参加の行事
・地域住民参加の行事
・防災教育、奉仕・体験活動、キャンプ、学習会　など

写真展など
県庁ロビー・文教会館
県教育委員会ＨＰ
文教月報

締切・送付方法など
電子データによりメールでの送信、または、CD-ROMなどの電子媒体に保存して送付してください。
（詳細は県教育会ＨＰを参照）
・メールアドレス
(info@ehime-kyouikukai.jp)
・宛先
「えひめ教育の日」推進会議事務局
〒７９０-８５４５
松山市祝谷１の５の33
・締切　９月27日(金)

愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

ローカルトピックス
ロマン広がる西予ジオパーク

西予市は２０１３年９月にジオパークに認定されました。

ジオとは「大地」のことで、大地の成り立ちとそこで生まれた自然や生態系、人々の暮らしを丸ごと感じることができる「大地の公園」がジオパークです。

西予市は、海抜０ｍから標高１、４００ｍの野村町まで、かなりの高低差があります。面積は愛媛県ナンバー２です。

ふるさとＣＭ大賞で有名になった野村町大野ヶ原には四国カルストの白い石灰岩があります。珊瑚の海から運ばれてきた地層であることから考えると、「西予市は、その昔、海の底だった。」というロマンも広がります。大野ヶ原小学校前にある龍王神社は、昔から大漁と安全祈願の神様としても有名です。

この夏、西予市のジオめぐりをされませんか？　見所満載なので、事前に西予市ホームページをご覧ください。

（文教月報編集協力委員　西予市三瓶小学校長　三好　智美）

新・字形と筆順 改訂版
新学習指導要領の学年別配当に対応！

宮澤正明 編　四六判／352P　定価1,800円＋税　ISBN978-4-8138-0044-6
光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9
Tel 03(3493)2111（代表）
www.mitsumura-tosho.co.jp
光村図書

ご冥福をお祈りします

近藤朝子様	97歳	松山市北井門四-二九-一	29・10・3
佐伯森文様	89歳	松山市吉藤五-二三-一七	30・7・20
近藤カズノ様	91歳	東温市志津川九七-五	30・11・5
菊池雅典様	77歳	松山市星岡四-二〇-一六	31・1・7
米田敏明様	89歳	宇和島市山際一-二-六	31・3・3
西山俊雄様	92歳	松山市小坂四-一五-七	元・5・18
河野紀子様	79歳	八幡浜市保内町喜木一-二三〇-四	元・5・23
渡邊富士男様	85歳	四国中央市小林二-二	元・5・25
髙橋謙一様	90歳	東温市横河原一八五-三	元・5・26
松本嘉穂様	99歳	八幡浜市新和田町三	元・5・29
河村利則様	88歳	四国中央市豊岡町豊田三一八	元・6・1
松本傳様	88歳	西予市宇和町新城一〇五二	元・6・1
宮武宏様	93歳	松山市保免西二-四-一三	元・6・5
鈴木禎二様	81歳	新居浜市喜光地町一-一-三五	元・6・9
上杉潤様	88歳	大洲市中村三六	元・6・11
大野タミ子様	88歳	四国中央市新宮町新宮四七六	元・6・14
山口吉子様	91歳	西予市宇和町卯之町二-二一〇	元・6・20
足立桂輔様	88歳	伊予郡松前町上高柳二七〇-三	元・7・2
濱田寛様	91歳	新居浜市久保田町二-一〇-二八	元・7・5
重岡恒延様	78歳	松山市北条辻三五四	元・7・13
天野剛史様	82歳	今治市大西町新町甲六三三-一	元・7・14
友石甫様	86歳	大洲市長浜甲三七	元・7・15
大川實様	93歳	北宇和郡鬼北町広見二一〇	元・7・18

ふるさとスケッチ No.425

永納山の城跡

東予周桑教育会OB
眞鍋　優

永納山城は、日本で最も古い城である古代山城の一つで、西条市と今治市の境に造られている。7世紀後半、中国や朝鮮の攻撃から我が国を守るために建築されたと言われている。

この場所は、築城に使われた石を切り出した石切場だったところで、普段は、草木が生い茂り、人が足を踏み入れない場所である。そこに立って周りの景色を堪能しながら、当時の人々の作業の様子や苦労に思いを馳せ、しばしペンを走らせた。

お知らせ

◆教育講演会

去る6月20日、約150名が参加し、本会代表者研修会を兼ねた教育研修会が行われました。愛媛大学大学院教育学研究科教授・日本学校改善学会会長の露口健司先生に「教職員の働き方改革・学び方改革・生き方改革」と題して御講演をいただきました。

教職員の働き方を考えるとき、勤務時間の話がよく出てくるが、認知側面について考えなければならない、「やりがい」「ベストコンディション」「ワーク・ライフ・バランス」の観点で探っていかなければならないと、話されました。そして、「ワークエンゲイジメント」（仕事に関連するポジティブで充実した心理状態）、「メンタルヘルス」（精神的健康、心の健康）、「主観的幸福感」（人々の感情反応、場面ごとの満足感）の3つの成果指標について紹介していただきました。

「働き方改革は学校づくり！」ならば、チーム学校の一員である愛媛県教育会が、今こそ現役の先生方を支えなければ…。

◆新しい特集がスタート！

平成21年度から平成30年度までの10年間続いた8・9月号の特集「私の趣味・特技」が、今年度8・9月号から、新しくなりました。新しい特集名は「あの日あの時ー私の大正・昭和・平成」です。会員の皆様が、人生の様々な場面を振り返り、文章に起こしてくださいました。

俳画・水墨画教室
佐々木ゆかり 作

文教の
いもたき会ビアホール
好評です！屋台メニュー
・お一人様（食べ・飲み放題）3,400円
・9月27日(金) 10月2日(水) 10月3日(木)
10月4日(金) 小グループでもお気軽に
エスポワール愛媛文教会館(089-945-8644)

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。
受賞作品多数制作
品質・デザイン力に自信あり！
「本」づくり応援
プロのスタッフが校正作業をサポートします！
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します！
●規格・装丁のご提案　●編集方針のご提案　●レイアウト見本のご提示
●原稿作りのアドバイス　●予算のお見積り　ーその他、ご相談承ります。ー
自分史　作品集　研究報告　記念誌　業績集　句集　エッセイ集　写真集
ご注文・お問い合せは　印刷営業部　☎089-945-0112　FAX089-947-6073
SEKI セキ株式会社